

製品名: Chk2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01822**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.63mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 61 kDa; Observed MW: 61 kDa

抗原情報

遺伝子名	CHEK2
別名	CHEK2; CDS1; CHK2; RAD53; Serine/threonine-protein kinase Chk2; CHK2 checkpoint homolog; Cds1 homolog; Hucds1; hCds1; Checkpoint kinase 2
遺伝子 ID	11200
SwissProt ID	O96017
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

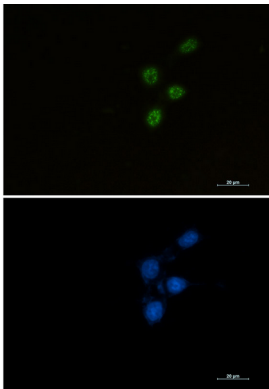
背景

これらは ATM/ATR キナーゼによるリン酸化に優先的に作用することが知られています。電離放射線（IR）、紫外線照射、またはヒドロキシウレア処理による DNA 損傷後、この領域の Thr68 をはじめとする部位が ATM/ATR によってリン酸化されます。したがって、SQ/TQ クラスタドメインは制御機能を有していると考えられます。

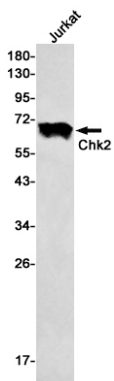
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



Chk2 抗体と DAPI（青）を使用した HCT116 の Chk2（緑）の免疫細胞化学分析。



Chk2 抗体を使用した Jurkat 溶解物中の Chk2 のウェスタン プロット分析。